

国における「明治150年」関連施策（案）

【内閣官房】

※平成29年8月31日現在

番号	①施策名	②施策の概要	③施策に関連する概算要求の事項名	④「明治150年」関連施策に係る概算要求額（千円）
1	ロゴマークの作成	明治150年の機運を醸成するため、公募によりロゴマークを作成し、国、地方公共団体、民間の多様な取組への使用を促進する。	-	-
2	「明治150年」アーカイブス（仮称）	関係省庁による「「明治150年」アーカイブ連絡会議」を設置し、明治期をはじめとする歴史的な文書、美術品、写真・映像等について、収集・保存、デジタルアーカイブ化等の推進に向け、情報共有・施策の連携を行う。 また、「明治150年」のポータルサイトを設置し、明治期に関連する歴史的資料などをオンラインで公開・展示して一体的に発信する。	-	-

【内閣府】

番号	①施策名	②施策の概要	③施策に関連する概算要求の事項名	④「明治150年」関連施策に係る概算要求額（千円）
1	明治150年特設ページの公開	国立公文書館所蔵の明治期公文書等について、館のHPを通じて発信する。	独立行政法人国立公文書館運営費交付金	2,508,415 の内数
2	国立公文書館における明治期公文書のデジタルアーカイブの充実	国立公文書館所蔵の明治期公文書の主な資料を対象に、利用頻度の高い資料のデジタル化、白黒画像のカラー化、未デジタル化文書のデジタル化を行い、その成果を分かりやすい形で提供する。		
3	国立公文書館による地方公文書館のデジタル化事業への助言	国立公文書館において、明治期公文書のデジタルアーカイブ化に関して、地方公文書館に対して技術的な助言を行うとともに、デジタルアーカイブ整備後は、他の地方公文書館デジタルアーカイブとともに、国立公文書館デジタルアーカイブとの横断検索の実現に向けて取り組む。		
4	明治期資料の記録保全と情報提供体制の構築	文書館、地方公共団体、民間その他の機関において、明治以降の国や社会の発展の歩みを跡づける歴史的な記録を保全するため、国立公文書館がデジタル化画像の複製を作成・収集するとともに、集約したデータを公開、提供する。		

5	国立公文書館特別展の開催	国立公文書館所蔵の明治期の文書を中心とした明治150年記念特別展を開催し、立憲政治の確立に関する資料など、明治期の施策を跡づける貴重な資料を展示する。その際、明治期の重要な資料を所蔵している他機関と連携して開催することについても検討する。		
6	インターネット特別展の開催	国立公文書館アジア歴史資料センターにおいて、明治時代を特集するインターネット特別展を企画し、公開を行う。		
7	明治期公文書の国立公文書館等へ移管の促進	各行政機関及び独立行政法人等において、明治時代に作成された公文書が保存されていないか総点検を行い、存在が判明した場合は、速やかに国立公文書館等への移管の措置をとるよう促す。	-	-
8	地方創生推進交付金による地方の取組支援	「地方創生推進交付金」を活用し、地方公共団体が実施する地方創生にも資する「明治150年」に関連する取組を支援する。	地方創生の推進に必要な経費	60,121,000 の内数
9	「明治日本の産業革命遺産」を核とした産業遺産に関する理解増進	明治における日本の工業立国の土台を構築した「明治日本の産業革命遺産」を核とした産業遺産に関する価値について、関係省庁と連携して広く国民への理解増進を図る。	-	-
10	迎賓館赤坂離宮の公開・開放	明治期の美術界・建築界の総力を結集し建設した迎賓館赤坂離宮について、接遇に支障のない範囲で、一般公開を通年で実施するとともに、迎賓館の魅力を内外に発信するユニークベニューとしての活用を図る「特別開館」を実施する。また、「明治150年」に関連した企画展の実施を検討する。	-	-
11	「明治150年記念世界青年の船」事業	明治期以来の日本のグローバル人材育成の精神を再認識し、現代に活かすため、青年国際交流事業として平成30年度に「明治150年記念世界青年の船」事業を実施する。	「明治150年記念世界青年の船」事業経費	707,801
12	男女共同参画社会づくりに向けての全国会議におけるパネル展示等	男女共同参画社会づくりに向けての全国会議において、明治に活躍した女性に関する展示を行う。あわせて、ホームページにおける紹介も検討する。	地方・民間団体等活動促進経費	445

【警察庁】

番号	①施策名	②施策の概要	③施策に関連する概算要求の事項名	④「明治150年」関連施策に係る概算要求額（千円）
1	「明治150年」を冠した「全国警察柔道・剣道選手権大会」及び「全国警察柔道大会・全国警察剣道大会」の開催	平成30年度に日本武道館において開催する予定である「全国警察柔道・剣道選手権大会」（9月開催予定・個人戦）及び「全国警察柔道大会・全国警察剣道大会」（10月開催予定・団体戦）を、「明治150年記念」を冠して開催する。	警察活動基盤整備費	5,168
2	明治期の警察制度に関する研究成果の発信	警察政策学会警察史研究部会において、明治期の警察制度に関する研究成果を、学会誌等において掲載することを検討する。	-	-
3	都道府県警察における明治150年記念展示	警視庁博物館において明治期の警察に関する諸資料の展示を行うなど、各都道府県警察において警察本部のイベントスペース等を活用した関連展示の実施を検討する。	-	-
4	警察庁ウェブサイト「明治150年記念」特設ページの設置	警察庁附属機関、地方機関、各都道府県警察等における明治150年に係る取組について、警察庁のウェブサイトを紹介ページを作成する。 また、同ページ内に、これらの機関のウェブサイト中、明治期の警察に関する研究成果の発表・展示に係るページへのリンクを掲載する。	-	-

【金融庁】

番号	①施策名	②施策の概要	③施策に関連する概算要求の事項名	④「明治150年」関連施策に係る概算要求額（千円）
1	明治期における金融制度が果たした役割等の調査・シンポジウムの開催	銀行、保険会社、証券会社・取引所について、江戸時代からの制度の変遷や明治期において果たした役割等についての調査を踏まえたシンポジウムを開催する。	明治150年関連施策経費	3,814
2	明治期の金融制度確立等に貢献した人物に関する調査・広報	明治期の金融制度の確立等に貢献した若者、外国人などの活躍を調査し、広報を行う。	-	-
3	金融庁ウェブサイトをはじめ各種媒体を使った広報の実施	金融庁ウェブサイトに特設ページを開設するとともに、庁舎広報スペースを活用して、上記の調査結果等について広報を行う。また、業界団体等の明治150年に関連する取組も広く紹介する。	-	-
4	業界団体における「明治150年」関連施策の支援・協力	業界団体等が開催する明治期と関係するイベント等について、後援等の支援・協力を行う。	-	-

【消費者庁】

番号	①施策名	②施策の概要	③施策に関連する概算要求の事項名	④「明治150年」関連施策に係る概算要求額（千円）
1	明治期の消費者志向の取組発掘プロジェクト	明治期の企業の消費者志向の取組（例：創業者の遺訓等の経営の精神）について、調査・発掘を行い、取組事例のデジタルアーカイブ化を行う。 また、その結果を踏まえ、消費者志向の経営を促進するためのシンポジウム等の中で、消費者志向の昔と今の取組を紹介することを検討する。	事業者連携推進に必要な経費	10,498 の内数
2	近代日本のくらしから現代の消費者問題を考える調査・広報	国民生活センターにおいて、明治以降のくらしから現代の消費者問題に通じる事象について調査し、その結果を踏まえ、これからの消費者問題を考える契機とするためのシンポジウム等の開催について検討する。これら成果物のデジタル展示や庁舎内での展示も検討する。	-	-

【復興庁】

番号	①施策名	②施策の概要	③施策に関連する概算要求の事項名	④「明治150年」関連施策に係る概算要求額（千円）
1	被災地からの復興に関連した、明治期と関係するイベント等の後援等	被災地からの復興に関連して、明治期と関係するイベント、行事等を開催する機関・団体等があった場合には、後援等を行う。	-	-
2	各種行事などの機会を活用した広報協力	各種行事などの開催の機会を活用し、明治150年関連の取組の広報などに協力し、明治150年に係る機運を醸成する。	-	-
3	ホームページ、メールマガジン、SNS等の各種ツールを活用した広報	政府の明治150年関連施策について、復興庁のSNSを通じて周知を図る。 また、被災地からの復興に関連して、明治期と関係するイベント、行事等を開催する企業があった場合に、復興庁のメールマガジンにおいて内容の紹介、発信等を行う。	-	-

【総務省】

番号	①施策名	②施策の概要	③施策に関連する概算要求の事項名	④「明治150年」関連施策に係る概算要求額（千円）
1	放送コンテンツの制作・展開の支援	明治150年に関する放送コンテンツを民間事業者等が制作し、展開する取組を支援する。	放送コンテンツ海外展開強化事業	1,949,701 の内数
2	地域における明治期の文化財のデジタルデータ化支援	地域の美術館・博物館等に収蔵されている有形文化財や、地域の祭礼等の無形文化財をデジタルデータ化する事業に対する地方財政措置を活用し、地方公共団体が行う明治期の歴史資料等のデジタルデータ化を支援する。	—	—
3	地域における明治期の歴史文化資産の活用支援	個性的で誇りに満ちた地域社会の形成に資する歴史文化資産の保存・活用に対する地方交付税措置を活用し、地方公共団体が、明治150年に関連する取組として実施する以下のようなものを支援する。 ・文化財保護法により指定された有形文化財、重要文化財、国宝等の取得、保存および周辺整備 ・住民が地域の歴史文化資産とふれあう場等の整備 ・歴史的建造物・街並みの保存および周辺整備	—	—
4	「明治150年」記念切手等の推薦	明治150年を国内に周知することを目的として、日本郵便（株）による「明治150年」記念切手が発行されるよう協力する。 北海道が平成30年に実施予定の北海道150年事業が「明治150年」に関連して実施される見込みであることを踏まえ、北海道が記念切手の発行依頼をするための推薦を行う。	—	—
5	統計関連古書のデジタルアーカイブ化の推進	統計図書館が所蔵する統計関連の古書について、明治時代からの代表的な書籍をデジタル化して、統計局ホームページ上に掲載・展開し、広く閲覧できるようにする。	「明治150年」関連施策経費	32,400
6	明治期の統計資料に関する講演会・展示の実施	明治期の統計資料について、次のような取組を実施する。 ・統計資料館において、「統計の日」（10月18日）にあわせて明治時代の資料を含めた古資料を展示する。 ・「明治期以降の我が国の統計」（仮題）と題する講演会の開催を検討する。 ・平成30年10月に新宿西口イベント広場で開催予定の「統計データ・グラフフェア」や平成30年11月に国立オリンピック記念青少年総合センターで開催予定の「第68回全国統計大会」の機会を活用し、政府統計に関する明治時代の資料を含めた展示などを検討する。	—	—

7	明治期の消防の歴史等に関する取組	明治期の消防の歴史等について、次のような取組を実施する。 ・消防庁において、明治150年に関連した企画展示等の開催に対して後援を行うことにより、消防博物館はじめ全国の防災学習施設等の取組を促進する。 ・消防白書に、明治以降の消防の歴史に関する紹介ページを設ける。	—	—
8	電信電話の歴史に関する展示	明治時代に始まった電信電話制度の歴史に関する展示の実施等を検討する。	—	—
9	恩給制度の歴史に関する展示	我が国で最も古い年金制度である恩給制度の資料の編纂及び公開・展示を行うことにより、恩給制度が歩んできた歴史、理念等を行政的かつ学術的見地から後世に遺す。	恩給の歴史的資料の編纂及び公開・展示	21,042
10	自治大学校「明治150年記念・地方自治講演会」の開催	自治大学校卒業生等を対象とする研修会を開催し、明治以降の我が国の「地方自治」をテーマにした記念講演を開催する。	—	—
11	公害等調整委員会Web誌「ちょうせい」を活用した広報	公害等調整委員会の広報誌「ちょうせい」（平成30年2月発行号）において、明治以降に発生した公害と、その後、公害紛争処理法等の制定を振り返りつつ、現在の公害等調整委員会の動向を紹介し、公害紛争処理制度の周知・広報を実施する。	—	—
12	総務省ホームページ	明治4年に創業した郵便事業制度の変遷や、明治時代からの無線通信の制度、明治時代を中心とした恩給制度などについて、歴史資料を作成し、総務省ホームページに掲載する。	—	—
13	広報誌「総務省」を活用した明治150年記念事業の広報	地方公共団体における明治150年を記念した取組事業の特集記事を掲載するなど、地方公共団体の取組に関する周知・広報を実施する。	—	—
14	地域経済循環創造事業交付金（ローカル10,000プロジェクト）	産学官の連携により、地域の資源と資金を活用して、雇用吸収力の大きい地域密着型企業の立ち上げを支援。明治150年に関連した事業については、推奨モデル枠として重点支援を行う。	地域経済循環創造事業交付金	1,868,250 の内数

【法務省】

番号	①施策名	②施策の概要	③施策に関連する概算要求の事項名	④「明治150年」関連施策に係る概算要求額（千円）
1	重要文化財である法務省赤れんが棟内の法務史料展示室等における展示の充実・イベントの開催	「明治150年」特集展示として、①重要文化財である赤れんが棟建築資料の展示、②初代司法卿 江藤新平をはじめとする我が国の司法制度の基盤形成に大きく貢献した偉人にスポットを当てる展示、③「明治150年」を機に新たに選定する明治期に編纂された法典等に関する貴重書の公開を中核として、司法の近代化をメインテーマとする充実した内容の特集展示を行う（他省庁の展示企画とも連携したパッケージ企画として行うことも検討。）。あわせて、国民が我が国の近代化に当たり法整備が重要な役割を果たしたことを想起できるよう、「明治150年」イベントとして、著名な大学教授を招いて「司法の近代化」をテーマとする講演、研究者らの有識者を招いたパネルディスカッション、赤れんが棟見学ツアーなどを開催する。	明治150年関連経費	24,454
2	重要文化財 旧奈良監獄の公開・活用	明治政府が監獄の国際標準化を目指して建築した五大監獄の一つである旧奈良監獄について、コンセッション方式を活用して保存・活用事業を実施する。運営権を民間事業者売却し、資料の保存にとどまらない広報価値の最大化を図る史料館運営を行うほか、同事業者の提案に基づく付帯事業として、ホテル等として活用する。	旧奈良監獄等の保存及び活用に係るアドバイザリー等経費	23,950
3	「法の日フェスタ」における明治150年関連イベントの実施	法の日週間（10月1日～10月7日）記念行事として、最高裁判所、法務省・最高検察庁、日本弁護士連合会の法曹三者が共催して実施している「法の日フェスタ」において、最高裁判所、法務省・最高検察庁において実施するイベントについて明治150年記念を冠するとともに、明治150年に関連したイベントを実施することを検討する。	—	—
4	ADRの更なる発展に向けた広報	明治期における裁判外の紛争解決制度の導入と発展の歴史を振り返りつつ、現代における認証ADRの普及や利用促進を図るべく、ADRの歴史的変遷並びに認証ADRの制度概要、メリット及び手続を簡単に理解してもらえるよう、内容を分かりやすくコンパクトにまとめた、視覚的に訴える動画を作成し、法務省ホームページでの公開のほか、法務省が主催又は共催する一般向けイベント等での上映を通じて、広く国民へ周知・広報を実施する。	A D R 認証制度実施経費	2,743
5	後援等による取組支援	法務省の施策と関連し、かつ明治期と関連するイベント、行事等を開催する団体等に対する後援を行い、取組を支援する。	—	—

【外務省】

番号	①施策名	②施策の概要	③施策に関連する概算要求の事項名	④「明治150年」関連施策に係る概算要求額（千円）
1	デジタルアーカイブ「明治150年記念外交史料館所蔵史料の紹介と国書・親書でたどる近代日本と諸外国との外交関係」	明治維新以降の我が国の近代化の一側面を示す幕末から昭和にかけての外交史料館所蔵史料を検索サービスにより紹介する。また、戦前期の国書・親書（1,100点）をデジタル化し、近代日本が諸外国と外交関係を構築した経緯を、画像などを見ながら辿れるようインターネット上でデジタルアーカイブとして公開する。	外交運営の充実に必要な経費	86,300 の内数
2	明治150年関連の広報動画作成	日本の民主主義の成立過程や近代化の過程等の明治時期の歴史、または明治に由来する日本文化・文化交流の歴史等を内容とした動画を日本語及び外国語で作成し、ホームページ上への掲載等を通じて発信する。	—	—
3	JICAと大学等との連携を通じた日本の開発経験の共有（JICA開発大学院連携）	明治維新以降、民主的な変革と自国の経済発展を成功裏に成し遂げた。戦後はアジアを中心に途上国の開発を積極的に支援してきた。これらの経験を踏まえ、途上国の発展への貢献及び親日派・知日派人材の育成強化を目的として、JICAと各大学との連携を抜本的に強化する。	独立行政法人国際協力機構運営費交付金	169,731,362 の内数
4	明治150年に関連するセミナーの海外における開催及び民間有識者の海外派遣による講演会の実施	海外において、現地のシンクタンクの協力を得つつ、日本の民主主義の成立過程や近代化の過程等、明治時期の歴史に焦点を当てたセミナーを開催し、戦前から構築されてきた我が国の自由・民主主義的な社会への理解の深化を図る。また、民間の有識者を海外に派遣し、明治150年に関連する内容の講演会を実施することで、日本社会への理解の促進を図る。	・在外公館による啓発講演事業 ・主要国における日本や他の国々の影響力調査・分析とそれに基づく効果的な発信	987,322 の内数
5	海外研究機関等と協力して行う、明治150年関連の研究成果公表	海外において、現地のシンクタンク等の研究機関と協力し、日本の民主主義の成立過程や近代化の過程等、明治期の歴史に焦点を当てた研究を行い、その成果を広く公表する。	・主要国における日本や他の国々の影響力調査・分析とそれに基づく効果的な発信 ・在外公館による海外研究機関等支援	971,430 の内数
6	ジャパン・ハウスを活用した関連イベントの企画	ロンドン、ロサンゼルス、サンパウロの3都市のジャパン・ハウス(ロンドン及びロサンゼルスについては未開館)において、明治維新や日本の近代化と各国の関係性等をテーマにした関連イベントを企画する。	・「ジャパン・ハウス」創設関連経費	2,373,948 の内数
7	外務省外交史料館と北海道立文書館との連携展示	外交史料館と北海道立文書館が共催で、両館の所蔵史料を活用し、平成30年夏頃、北海道立文書館において「明治150年＝北海道150年」にちなんだ展示会を行う。	—	—

8	巡回展「明治150年記念 近代日本の対外関係展（仮）」の実施	外交史料館が所蔵する戦前期の条約書や国書・親書等の中から、我が国と欧米諸国との外交関係上、特に重要なものについてレプリカを作成し、外交史料館及び地方都市において展示会を行う。	外交運営の充実に必要な経費	23,190
9	海外での明治150周年関連の文化事業の実施	明治にゆかりのある日本の技術や文化に焦点を当てた文化事業を、在外公館や国際交流基金を通じて、海外で実施する。	在外公館文化事業費	315,432 の内数
			独立行政法人国際交流基金運営費交付金	15,451,888 の内数

【財務省】

番号	①施策名	②施策の概要	③施策に関連する概算要求の事項名	④「明治150年」関連施策に係る概算要求額（千円）
1	記念貨幣の発行の可能性について検討	明治150年を記念する貨幣の発行の可能性について検討する。	—	—
2	日本銀行貨幣博物館における「明治150年」記念展示企画の開催等	日本銀行貨幣博物館における「明治150年」記念展示企画の開催等を検討する。	—	—
3	独立行政法人造幣局及び国立印刷局の博物館における特別展の開催	独立行政法人造幣局及び国立印刷局の博物館において、明治をテーマに、明治期の紙幣、貨幣、設備等の収蔵品を展示する特別展を開催する。	—	—
4	税関広報展示室における特別展示	各税関の広報展示室において、特別展示として、明治期を中心に税関の歴史にちなんだ文書、資料等の展示を行う。	—	—
5	租税史料室における明治150年関連展示	租税史料室の特別展示を明治150年関連展示として行う。	—	—
6	造幣局本局「桜の通り抜け」及び造幣局広島支局「花のまわりみち」	毎年4月頃に開催する構内の桜の一般公開にあわせ、来場者に対して明治期にちなんだ施設等を紹介する。	—	—

【文部科学省・スポーツ庁】

番号	①施策名	②施策の概要	③施策に関連する概算要求の事項名	④「明治150年」関連施策に係る概算要求額（千円）
1	大学図書館が所蔵する明治期コレクション企画展示の実施	明治期の技術や文化に関する遺産に触れる機会の充実のため、大学図書館が所蔵する明治期のコレクションを活用した企画展示等を、国立公文書館や関係機関と連携して実施する。	—	—
2	明治150年を冠した「国民体育大会」の開催	平成30年9～10月に福井県で開催される「第73回国民体育大会」に、「明治150年記念」を冠し開催する。	平成30年国民体育大会開催事業費（地方スポーツ振興費補助金）	430,000
3	第73回国民体育大会文化プログラムにおける「明治150年」関連展示の実施	平成30年9～10月に福井県で開催される第73回国民体育大会において、明治150年に関連した展示等を国民体育大会文化プログラムとして実施する。	—	—
4	第73回国民体育大会特殊切手発行	国民体育大会の開催を記念して発行される特殊切手に「明治150年記念」などと記すことを日本郵便に採択依頼する。	—	—
5	ICOM（国際博物館会議）京都大会に関連するイベントにおける「明治150年」記念ブースの設置	平成31年9月に京都市において、日本では初の開催となるICOM（国際博物館会議）の3年に一度の世界大会であるICOM京都大会の関連イベント等において、日本紹介ブース内に明治150年を記念した展示の実施を検討する。	—	—
6	国立女性教育会館による「明治150年」企画展の実施	国立女性教育会館女性教育情報センター、女性アーカイブセンターの所蔵する資料やアーカイブのうち、明治150年に関連するものについて展示する。	独立行政法人国立女性教育会館運営費交付金	510,584 の内数
7	国立科学博物館による「明治150年」記念展示や講座の開設	国立科学博物館において、明治150年に関連した企画展示や、大学生を対象とした講座の開設、展示会場における明治150年記念トークの開催などを実施する。	独立行政法人国立科学博物館運営費交付金	3,039,491 の内数
8	明治150年記念「教育に関するシンポジウム」の開催	明治期以降現代に至る教育に関する変遷や特徴等を取り上げるとともに、これからの教育の展望の検討に資するシンポジウムを行う。	教育に関するシンポジウムに関する経費	2,070
9	明治期教科書のデジタルアーカイブ化	明治期の小学校教科書についてインターネットで本文画像を閲覧出来るサービスを提供する。	国立教育政策研究所調査研究等	3,342,000 の内数
10	明治以降の学校建築に関する展示企画・シンポジウムの開催	国立大学、地方公共団体や学校法人が所有している重要文化財や登録文化財など、文化的価値を有する学校建築に関する企画展示を開催する。 また、明治以降、現代にいたるまでの学校建築の変遷を辿るシンポジウムを開催する。	—	—

11	スーパーグローバル大学創成支援事業採択校などにおける「明治150年」関連シンポジウム・講座等の開催	スーパーグローバル大学創成支援事業採択の大学などにおいて、日本人学生と留学生とが共に日本の明治期の近代化経験等について学ぶためのシンポジウム・講座等を開催する。	スーパーグローバル大学創成支援事業	6,341,000 の内数
12	「明治150年」記念統合的気候モデル高度化研究プログラム公開シンポジウムの開催	明治期に気象観測を開始した研究者の功績を辿りながら、現在に至るまでに収集された観測データを活用した過去150年の気候再現実験の実施により得られる効果について考えるシンポジウムの開催する。	統合的気候モデル高度化研究プログラム	646,385 の内数
13	庁舎内ミュージアム「情報ひろば」における展示	庁舎内の「情報ひろば」において、明治期の資料（当時の教科書等）を展示するとともに、明治150年に関する企画ブースを設置する。	—	—
14	日本科学未来館による明治150年に関連したブログ記事の発信	日本科学未来館が発信する科学コミュニケーターによるブログサイト等で「明治150年」と関連したテーマや科学技術にちなんだ記事を掲載・発信する。	—	—
15	国立歴史民俗博物館における無料観覧の実施	国立歴史民俗博物館において、多くの人に明治期の常設展等を見てもらい、明治150年を考えてもらうきっかけとするため、平成30年度に無料入館日を設ける。	—	—

【文化庁】

番号	①施策名	②施策の概要	③概算要求の事項名	④「明治150年」関連施策に係る概算要求額（千円）
1	東京国立近代美術館における展示企画	明治150年を迎えるのにあわせ、明治期の作品の特集を組んだ所蔵作品展の開催や、明治期から活躍した日本画家をテーマとした企画展の開催する。	独立行政法人国立美術館運営費	7,856,810 の内数
2	京都国立近代美術館における展示企画	明治150年を迎えるのにあわせ、明治期の日本画、洋画、工芸を主とした企画展の開催する。		
3	東京国立近代美術館フィルムセンターにおける上映企画	フィルムセンターが所蔵する明治期に関する日本映画作品の上映する。		
4	東京国立博物館における展示	東京国立博物館において、明治150年に関連する展示の開催等を行う。	独立行政法人国立文化財機構運営費	7,936,657 の内数
5	独立行政法人日本芸術文化振興会における公演・展示等	国立劇場、国立能楽堂、国立文楽劇場等において、明治150年に関連する（明治150年を記念する）公演、展示等の開催する。	独立行政法人日本芸術文化振興会運営費	10,427,932 の内数
6	文化庁芸術祭	平成30年度開催の文化庁芸術祭の文化庁主催公演を、明治150年記念事業と位置づけ、明治150年記念の趣旨に沿った公演企画を募集する。	文化芸術創造活動の推進 芸術祭・芸術選奨	362,681 の内数

7	文化庁メディア芸術祭	平成30年度に開催する文化庁メディア芸術祭において、明治150年を記念するアニメやマンガ等の特別展示の検討や、関連機関等とのシンポジウムやトークイベントなどの企画を行う。	メディア芸術グローバル展開事業	606,326 の内数
8	補助事業による明治150年に関連事業への支援	文化庁の各種補助事業を活用し、地方公共団体や文化芸術団体が、明治150年関連施策として実施する、文化財修復や文化財公開事業、シンポジウム、公演、文化芸術イベント等（国宝・重要文化財建造物や世界文化遺産に関係する事業等を含む）を支援することを検討するとともに、支援対象事業を明治150年記念事業として位置づける。	文化遺産総合活用推進事業	2,171,714 の内数
			歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業	7,923,033 の内数
			美しい日本探訪のための文化財魅力向上促進事業	305,121 の内数
9	国民文化祭	平成30年度に大分県で開催する国民文化祭において、国民文化祭内の一部事業で明治150年記念に関連したイベントを開催する。	国民文化祭	243,305 の内数

【厚生労働省】

番号	①施策名	②施策の概要	③施策に関連する概算要求の事項名	④「明治150年」関連施策に係る概算要求額（千円）
1	検疫資料館保存等事業(仮称)	明治以降の日本の検疫制度を後世に引き継いでいけるよう、厚生労働省が管理する検疫資料館について、必要な保存、活用などを行う。	明治150年関連施策に係る経費	41,804
2	検疫記念日関連行事を活用した明治150年関連事業の実施	「海港虎列刺（コレラ）病伝染予防規則」の公布された日（明治12年7月14日）を記念した検疫記念日に、検疫所において明治150年関連の行事を行う。		
3	日本赤十字社における関連施策の実施	日本赤十字本社の常設展示場「赤十字プラザ」において、明治期に関する関連資料の特別展示を行うとともに、日赤が会員向けに発行している新聞での特集号の刊行、日赤ホームページにおいて明治期の写真や文献の掲載を行う。	-	-
4	国立感染症研究所における明治期の感染症対策に関するシンポジウムの開催	国立感染症研究所において、明治期以降の感染症対策をテーマとしたシンポジウムを開催する。	試験研究費	123,842 の内数
5	老人の日・老人週間における行事を活用した「明治150年」関連キャンペーンの実施	老人福祉法に定める老人の日及び老人週間では、①国民の間に老人の福祉への関心と理解を深める、②老人が自らの生活の向上に努める意欲を促すことを目的として、各地でさまざまな行事やポスターの掲示などの広報活動を行っており、「明治150年」を記念した取組を実施する。	-	-

【農林水産省】

番号	①施策名	②施策の概要	③施策に関連する概算要求の事項名	④「明治150年」関連施策に係る概算要求額（千円）
1	水田開拓等の歴史から学ぶ	明治期を中心とした水田開拓等の歴史について、都道府県と連携しつつ、資料の収集・整理、デジタルアーカイブ化を行い、SNSやメールマガジンにより発信したり、関係団体と連携したイベント等での展示や企画を行う。	-	-
2	品種改良など農業分野の研究開発の歴史から学ぶ	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構と連携し、明治期における農業分野の研究開発について、品種改良の歴史や、農事試験場の開設による農業技術の飛躍的な発展等に関する資料の収集・整理、デジタルアーカイブ化を行うとともに、シンポジウムを開催する。	-	-
3	世界一の生糸産業から学ぶ	（一財）大日本蚕糸会と連携して、明治期の生糸産業の歴史に関する資料の収集・整理、デジタルアーカイブ化を行うとともに、養蚕振興や生糸輸出の功績者、明治から昭和期の養蚕農家や製糸工場の様子等に関するパネルを作成し、シルクサミットなどのイベントにおいて展示を行う。また、「明治期の生糸産業に学ぶ」をテーマとしてシンポジウムを開催する。	-	-
4	明治期以降の林業の発展の歴史から学ぶ	森林・林業施策に関して、明治期に法制化された旧森林法に基づく森林荒廃の復旧や明治期の国有化以降、森林の保全等を本格化した国有林野事業等について、関連する資料の収集・整理、デジタルアーカイブ化を行い、ホームページ、広報誌等で公開するとともに、森林管理局が開催するイベント等でのパネル作成・展示を行う。	-	-
5	酪農・乳業の歴史から学ぶ	（一社）Jミルクと連携し、明治以降の酪農・乳業の発展の歴史について、関連資料の収集・整理、デジタルアーカイブ化を行うとともに、パネルの作成・展示を行う。	-	-
6	明治期の食や食品製造発展の歴史から学び、現代の「食」や「栄養」を考える	明治期の食と栄養の概念や明治期に発展、成長した食品製造業等について、関連する資料の収集・整理、デジタルアーカイブ化を行うとともに、SNSによる情報発信や、パネルの作成・展示を行う。	-	-
7	明治期以降の漁業の発展の歴史から学ぶ	水産研究・教育機構と連携し、同機構が所蔵する古文書等の展示を行う。	-	-
8	外食産業との連携による情報発信等	外食産業の民間企業と連携し、ポスターやチラシの掲示、共通ステッカーの配付等を通じた情報発信の取組を実施する。	-	-

9	食育推進全国大会における講演や展示等の実施	大分県と共催する第13回食育推進全国大会において、明治期の食生活や明治期以降の食生活の変遷等に関する有識者による講演等や展示の実施する。	-	-
10	明治期までのバイオマス利用から循環型社会の形成を学ぶ	バイオマス産業都市認定証授与式において、認定証授与者から明治初頭までの衛生的な循環型社会の構築に関する紹介等を行う。	-	-
11	「農林水産祭」における明治150年記念シンポジウムの開催	「農林水産祭」において、(公財)日本農林漁業振興会と連携し、明治期にゆかりのある蚕糸業をテーマに、過去蚕糸業で天皇杯を受賞した者を招聘し「明治150年」記念シンポジウムとして開催するよう調整する。	食料・農業・農村に関する政策の調査等に必要経費	40,166 の内数
12	「実りのフェスティバル」における明治150年記念関連事業の実施	「実りのフェスティバル」(農林水産省による施策の紹介や都道府県等による農林水産物の販売などを行うイベント)において、(公財)日本農林漁業振興会と連携し、明治150年を記念したブースを開設する。		
13	白書等への明治関連記事の掲載	平成29年度食料・農業・農村白書、森林・林業白書及び水産白書において、それぞれ、明治期の農業、林業及び水産業や、明治から現在までの歩み等、明治150年に関連したページ等を設ける。また、食育白書においても、明治期における食生活の転換や、明治期以降の食生活の変遷等、明治150年に関連したページ等を設ける。	-	-
14	全国の「消費者の部屋」での展示	本省や全国の農政局の「消費者の部屋」において、明治期の農業、林業及び水産業や、明治から現在までの歩み等、明治150年に関連した展示を行う。	-	-

【経済産業省】

番号	①施策名	②施策の概要	③施策に関連する概算要求の事項名	④「明治150年」関連施策に係る概算要求額(千円)
1	日本の産業と経済に貢献した明治期以降の研究成果の紹介	国立研究開発法人産業技術総合研究所の歴史は明治15年(1882年)に始まっており、日本の産業と経済に貢献した明治期以降の研究成果を紹介するホームページを作成するとともに、研究所の一般公開イベントにおいて、パネル等展示を行う。	国立研究開発法人産業技術総合研究所運営費交付金	62,675,402 の内数
2	明治150年記念登録証(商標)	商標の登録証について、出願人の希望に応じ、明治時代の登録証と同様のデザインの複製版を記念追加発行する。	-	-
3	明治150年記念特許印紙の作成	明治150年を記念した、限定デザインの特許印紙を作製・販売を検討する。	-	-

4	特許に関する「明治150年」関連イベントの実施	「巡回特許庁」など特許庁が開催するイベント等において、明治期から今日に至る科学技術・産業の発展や、それに係る特許、商標等の推移を紹介するとともに、明治期に活躍した主要発明家等に関するパネル、当時の特許公報など特許庁が保有する明治ゆかりの品を展示する。	巡回特許庁支援事業	145,368 の内数
5	明治期より続く伝統工法で作られた伝統製品の海外展開事例の紹介	日経CNBCで放映されているジェトロの国際ビジネス情報番組「世界は今」において、明治期より続く伝統工法で作られた伝統産品を海外に輸出している企業等の取組を紹介する。同番組の映像についてはインターネットで配信するとともに、ジェトロが実施するセミナーや商談会等のイベントにおいても活用する。	独立行政法人日本貿易振興機構運営費 交付金	24,401,055 の内数
6	白書等での特集	経済産業省作成の各種白書等において、以下のような明治150年関連の特集を掲載する。 ・ものづくり白書において、明治期に設立された企業の取組事例等を紹介する。 ・中小企業白書又は小規模企業白書において、明治設立の中小企業の経営努力や成長に向けた取組事例等を紹介する。 ・通商白書において、明治期の殖産興業施策を通じた日本企業の輸出に向けた取組事例等を紹介する。 ・エネルギー白書において、明治から現在までの日本のエネルギー開発・利用の歴史を振り返る企画を掲載する。 ・特許庁が毎年発行している「年次報告書」において、明治期の産業財産権に関する特集を掲載する。 ・はばたく中小企業・小規模事業者300社において、明治より継続して活躍している中小企業を特記して取組を紹介する。	—	—
7	所管法人・民間団体との連携・支援のための体制構築	全所管法人・所管団体との間で連絡窓口を開設し、連携体制を構築するとともに、文書を発出して取組を要請する。	—	—

【国土交通省】

番号	①施策名	②施策の概要	③施策に関連する概算要求の事項名	④「明治150年」関連施策に係る概算要求額（千円）
1	明治期の公共土木施設等に関する情報発信	明治期に建設・築造等が行われた公共土木施設等について、建設・築造等の経緯や指揮を執った技術者・企業等について情報を整理し、ホームページ等により発信する。	—	—
2	明治期の公共土木施設等に関連するインフラツーリズムの推進	インフラ管理者として、明治期の土木施設・建築物とそれらを建設した企業の協力を得つつ、官民及び地域による体制づくりを支援し、インフラツーリズム等を推進する。 また、民間団体等が行う観光まちづくりに係るコンテストにおいて、『インフラツーリズム』の観点でのプランを募集し、「明治150年」にちなむ内容を盛り込むことを応募要件とするよう促す。	—	—
3	訪日プロモーション事業	明治期の建築物や文化・歴史等について、JNTOグローバルホームページにより海外に向けて情報発信を行うとともに、明治に由来する観光地等に海外メディア及び旅行会社を招請する。	訪日プロモーションの抜本改革	11,181,086 の内数
4	明治期の歴史を探访する旅の開発	平成30年に開催予定の明治150年関連行事を活用したツアー、明治期に由来する建築物を訪ねるツアーなど、明治期の文化・歴史・風俗等を盛り込んだ旅行商品の開発を旅行者に促す。	—	—
5	明治期の立憲政治の確立等に関する歴史的遺産の保存・活用のための明治記念大磯邸園（仮称）の整備	「明治期の立憲政治の確立等に貢献した先人の業績等を次世代に遺す取組に関する検討会」の報告書を踏まえ、関係府省と連携し、地元の地方公共団体（神奈川県、大磯町）等との適切な役割分担のもと、神奈川県大磯町にある旧伊藤博文邸等を中心とする建物群及び緑地を「明治記念大磯邸園（仮称）」として整備し、建物群等の一体的、有機的な活用を図る。	国営公園等事業	32,560,000 の内数
			社会資本整備総合交付金	1,048,442,000 の内数
6	海外日本庭園再生プロジェクト	明治期に欧米で開催された万国博覧会を契機に作庭された日本庭園の修復についてモデル事業を実施する。	海外における日本庭園の保全再生方策検討調査	60,000 の内数
7	土木学会と国土交通省の連携によるイベントの開催	土木学会が主催するイベントにおいて、土木学会及び国土交通省が連携して「明治150年」に関連したパネルの展示、講演等の広報展開を行う。	—	—
8	公共建築関係イベント等における広報展開等	平成30年に行われる公共建築関連団体のイベント（公共建築月間等）の機会を活かして明治150年をテーマとしたパネル展示等の広報展開を行う。	—	—

9	土地制度に関するシンポジウムの企画	明治期の土地制度について理解を深めながら、人口減少社会に対応した土地制度のあり方について考えるシンポジウムを企画する。	—	—
10	国営武蔵丘陵森林公園における関連イベントの開催	明治百年記念事業の一環として整備された国営武蔵丘陵森林公園において、「明治150年記念」を冠するイベントを実施する。	国営公園等事業	32,560,000 の内数
11	建築関係イベント等における明治期に活躍した建築家等の紹介等	平成30年に行われる建築関係イベントにおいて、明治期に活躍した建築家等を紹介するとともに、住生活月間や住宅・建築関連団体のイベント等の機会を活用して明治150年関連施策についての広報展開を行う。	—	—
12	鉄道博物館等における特別展示等の開催	鉄道博物館等において、エドモンド・モレルなど、我が国の鉄道の黎明期を支えた外国人の活躍に着目した特別展示や、明治期の鉄道に関する展示物の特別公開等を実施することを促す。	—	—
13	鉄道フェスティバルにおける明治期の鉄道に関する展示等の実施	鉄道事業者、協賛企業等による展示・物販ブース展開等を行う「鉄道フェスティバル」において、明治期の鉄道に関するパネル展示等を実施することを検討する。	—	—
14	練習帆船出航式及び寄港地での一般公開開催時におけるパネル展示等の実施	明治以降伝承されてきた帆船実習に関連し、遠洋航海に出航する練習帆船の「出航式」及び平成30年に練習帆船が寄港地で実施する「一般公開」開催時において、明治150年に関連する「明治期の船員教育等」に関するパネル展示や広報等の実施を検討する。	—	—
15	北海道が行う記念行事等への協力・支援	平成30年に北海道が行う記念行事等への協力・支援を行う。	—	—
16	明治期の地図等のデジタルアーカイブ化の推進及び展示等	国土地理院が保有する明治期の地図等について、デジタルアーカイブ化を行うとともに、展示を行う。また、国・地方公共団体が行う明治150年関連の記念イベントや関連事業について、デジタルアーカイブ化した地図等を提供する。	—	—
17	明治以降に刊行された海図の収集、デジタルアーカイブ化の推進及び展示	明治以降に刊行された海図の収集、デジタルアーカイブ化を行うとともに、明治150年を記念して展示を行う。	—	—
18	日本水準原点の維持管理及び原点近傍への電子基準点の設置	明治期に建設され現存する日本水準原点について、引き続き維持管理を行う。明治以来の測量技術と現代の測量技術をつなぐモニュメントとしての意味も込めて日本水準原点近傍に電子基準点を設置し、東京湾平均海面からの水準測量により得られる日本水準原点の高さと、宇宙測地技術により得られる電子基準点の高さを直接関係付ける。	三角点・水準点等の測量経費	270,400 の内数

19	明治期に建設され現存する灯台等の原型保存等	明治期に建設され現存する以下の灯台等について、計画的な保全管理の実施など原型保存、維持管理の継続を行う。 ・石狩灯台（明治41年）：原型保存による維持管理 ・中ノ鼻灯台（明治27年）：原型保存による維持管理 ・細島駿潮場（明治26年）：維持管理の継続	—	—
			験潮経費	39,855 の内数
20	灯台150年記念式典及び灯台記念日における灯台の一般公開等を明治150年関連事業に位置づけて実施	我が国初の洋式灯台である「観音埼灯台」の起工日である明治元年11月1日にちなんで11月1日を「灯台記念日」と定めており、平成30年が明治元年から数えて150周年を迎えることから、記念式典を開催する予定であり、当該式典を明治150年関連事業としても位置づける。また、灯台150周年記念として、全国各地の灯台における一般公開において各種イベントを計画しており、これらを明治150年関連事業としても位置づける。	航路標識整備事業工事諸費に必要な経費	12,614 の内数
21	明治期に作成された灯台図面の保存及び貸出	明治期に作成された灯台の図面について、保存管理・整理を実施するとともに、写真パネル等による展示などへの貸出要請に積極的に対応する。	—	—
22	国土交通省の関連団体と連携した明治150年にかかる機運の醸成	関連団体向けのパンフレット等でロゴマークの使用を推進する等、明治150年にかかる機運の醸成を図る。	—	—
23	国土交通関連企業・業界団体等が保有する歴史資料等を用いた明治150年関連の取組促進	国土交通関連企業・業界団体等が保有する歴史資料等を用いた明治150年関連の取組の実施について企業・業界団体等に協力を要請する。	—	—
24	白書等での特集	国土交通省等作成の各種白書等において、以下のような明治150年関連の特集を掲載する。 ・国土交通白書において、建設業、運輸業等に関する明治以降からこれまでの歩み ・交通政策白書において、交通政策に係る明治から現在までの歩み等を紹介する。 ・土地白書において、明治期に整備された土地制度について、明治期から150年経過した現在までの状況について掲載することを検討する。 ・首都圏白書において、首都圏整備に関する明治から現在までの歩み等を紹介す ・水循環白書において、明治期の水との関わり方等について紹介する。 ・海事レポートにおいて、明治期における海事産業等について紹介する。 ・観光白書において、明治期に由来する建造物、歴史・文化の観光資源としての活用等について、コラム掲載することを検討する。 ・海上保安レポートにおいて、明治期に建設され現在まで活躍している灯台の保存措置等の海上保安庁による取組などについて紹介する。	—	—

25	各種記念日における関連事業の実施	各記念日において、以下のとおり明治150年関連の取組を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・「海の日」（平成30年は7月16日）関連イベントとして、明治丸の活用等、明治時代と海運等について取り上げた行事を検討する。 ・「水の日」（8月1日）に実施している「水を考えるつどい」において、明治期における水との関わり方などに関するパネル展示等を行うことを検討する。 ・平成30年の「水路記念日」（9月12日）のテーマを「明治150年」とし、明治期に刊行された海図等の展示等を各管区海上保安本部において実施する。 ・「空の日」（9月20日）関連イベントとして、羽田空港において、明治から現在にいたる航空関連写真の展示を検討する。 	—	—
----	------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---	---

【環境省】

番号	①施策名	②施策の概要	③施策に関連する概算要求の事項名	④「明治150年」関連施策に係る概算要求額（千円）
1	明治150年新宿御苑菊花壇展（仮）	実施のために必要な経費が予算措置されることを前提とし、新宿御苑等において例年11月1日～15日に実施している菊花壇展を、明治150年記念事業として位置づけ、例年の取組に加えて以下の取組を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・菊栽培所特別公開 ・ボランティアによる菊花壇解説 ・明治150年菊花壇歴史展（明治時代の写真等の解説板を設置） ・11月3日の無料開放 	新宿御苑菊花壇上家等整備	16,500
			新宿御苑日本庭園園路等再整備	6,000
2	「明治150年」温泉地PR	明治期は、箱根強羅、熱海、別府など、国民の保健・休養を目的とした観光地としての温泉地が発達した時代であり、明治150年を期に、我が国の温泉地の歴史やその魅力を広くPRする。	温泉の保護及び安全・適正利用推進費	22,915 の内数
3	明治150年狩猟応援プロジェクトの実施	明治6年に現在の狩猟免許制度の前身である鳥獣猟規則が制定され、本規則により狩猟の安全管理が開始されたことを踏まえ、狩猟の社会的意義の普及等の一層の推進を行う「狩猟の魅力まるわかりフォーラム」を明治150年を冠して実施する。	鳥獣保護管理強化総合対策事業費	834,233 の内数
4	明治期の日本の自然環境に関する資料の収集・整理及び公開	海外から称賛された明治期の自然環境について、当時の地形図や写真等の自然環境に関する資料を収集・整理し、広く国民に紹介する。	—	—
5	3R推進全国大会	3R推進全国大会の実施にあたり、広報物等に明治150年のロゴマーク等を使用し広く国民への周知と理解を広める。 ※ 3R=リデュース・リユース・リサイクル	循環型社会形成推進等経費	86,352 の内数

【防衛省】

番号	①施策名	②施策の概要	③施策に関連する概算要求の事項名	④「明治150年」関連施策に係る概算要求額（千円）
1	市ヶ谷記念館における特別展示	防衛省「市ヶ谷台ツアー」における見学施設の一つである市ヶ谷記念館において、明治時代の歴史的な展示物のコーナーを設け特別展示を行うことを検討する。	—	—
2	防衛研究所における特別展示	防衛研究所戦史研究センター史料室の所蔵史料を使用して、「明治150年」にちなんだ特別展示をエントランスホールで実施することを検討する。	—	—
3	明治時代の医療技術に関する資料の展示	陸上自衛隊衛生学校彰古館に保管している明治時代における軍事に関する医療技術資料や医療機器等の展示を行うことを検討する。	—	—
4	明治時代の科学技術関連史料の展示	防衛装備庁陸上装備研究所で保管する明治時代に執筆された科学技術関連史料の展示を行うことを検討する。	—	—
5	善通寺駐屯地庁舎改修等事業（仮称）	陸上自衛隊善通寺駐屯地が管理する明治時代に建設された庁舎について、改修等の事業を行う。	乃木館基本設計等（善通寺）	7,364
6	「明治150年」関連の防衛問題セミナーの開催	地方防衛局主催の防衛問題セミナーにおいて、「明治150年」に関連する講演を実施することを検討する。	—	—